

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成30年4月19日(2018.4.19)

【公表番号】特表2017-527268(P2017-527268A)

【公表日】平成29年9月21日(2017.9.21)

【年通号数】公開・登録公報2017-036

【出願番号】特願2017-502246(P2017-502246)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 N 5/20 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/16 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 16/28

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/10

C 1 2 N 5/20

A 6 1 K 39/395 U

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/16

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月9日(2018.3.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

サーファクタントタンパク質AのSP-R210受容体に特異的に結合するモノクローナル抗体(mAb)又はそのフラグメントであって、

(I)以下を含む可変重鎖配列：

a)配列GYIFSDYYMR(配列番号3)を含む重鎖相補性決定領域1(P2H10-HCDR1)；及び

b)配列DINPKNGDTFYNQKFKGK(配列番号4)を含む重鎖相補性決定領域2(P2H10-HCDR2)；及び

c)配列REGD(配列番号5)を含む重鎖相補性決定領域3(P2H10-HCDR3)

; 及び、

以下を含む可変軽鎖配列：

d) 配列RSSQTILHSNGNTYLE (配列番号6) を含む軽鎖相補性決定領域1 (P2H10-LCDR1); 及び

e) 配列KVSKRFS (配列番号7) を含む軽鎖相補性決定領域2 (P2H10-LCDR2); 及び

f) 配列LQGSHPVPLT (配列番号8) を含む軽鎖相補性決定領域3 (P2H10-LCDR3);

を含むか、

あるいは、

(II) 以下を含む可変重鎖配列：

i) 配列GYTFTDYAMH (配列番号9) を含む重鎖相補性決定領域1 (P4G4-HCDR1); 及び

ii) 配列VISTYNGNTKYNQKFKD (配列番号10) を含む重鎖相補性決定領域2 (P4G4-HCDR2); 及び

iii) 配列ARTDYDNGDYVMDY (配列番号11) を含む重鎖相補性決定領域3 (P4G4-HCDR3); 及び

以下を含む可変軽鎖配列：

iv) 配列KASQDINNYLS (配列番号12) を含む軽鎖相補性決定領域1 (P4G4-LCDR1); 及び

v) 配列RANRLVD (配列番号13) を含む軽鎖相補性決定領域2 (P4G4-LCDR2); 及び

vi) 配列LQYDEFPLT (配列番号14) を含む軽鎖相補性決定領域3 (P4G4-LCDR3);

を含む、モノクローナル抗体又はそのフラグメント。

【請求項2】

前記(I)のモノクローナル抗体又はフラグメントが、SP-R210受容体のSP-R210_Sアイソフォームのみに特異的に結合し、前記(II)のモノクローナル抗体又はそのフラグメントが、SP-R210受容体のSP-R210_S及びSP-R210_Lアイソフォームに特異的に結合する、請求項1に記載のモノクローナル抗体又はそのフラグメント。

【請求項3】

前記モノクローナル抗体又はそのフラグメントが、部分的に又は完全にヒト化されている、請求項1に記載のモノクローナル抗体又はそのフラグメント。

【請求項4】

ヒトIgG定常領域を含んでいる、請求項3に記載のモノクローナル抗体。

【請求項5】

請求項1に記載のモノクローナル抗体又はそのフラグメントを含む、医薬組成物。

【請求項6】

個体におけるウイルス感染症又は細菌感染症を治療するために用いられる、請求項5に記載の医薬組成物。

【請求項7】

前記個体が、ウイルス性インフルエンザ感染のための治療を必要としている、請求項6に記載の医薬組成物。

【請求項8】

前記個体が、ウイルス性インフルエンザ感染に関連する肺炎を有している、請求項7に記載の医薬組成物。

【請求項9】

請求項1に記載のモノクローナル抗体又はそのフラグメントをコードしている発現ベクター。

【請求項10】

生体外細胞培養物であって、当該細胞培養物中の細胞が、請求項 1 に記載のモノクローナル抗体又はそのフラグメントを発現する、細胞培養物。

【請求項 1 1】

請求項 1 に記載のモノクローナル抗体をコードするポリヌクレオチド配列を含む、ハイブリドーマ。